

**公開版**

## 平成28年度 教育委員会 第21回定例会 議案

1 日 時 平成29年2月3日(金) 午後1時15分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

<非>第45号議案 平成29年2月県議会定例会に提出する議案

…非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

(件名)

## 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則の改正

(高校教育課)

### 1 虚偽申請の防止 (第 11 条、第 13 条、様式関係)

#### (1) 改正理由

併用できない奨学金等制度の貸与を受けている者からの申請を予防するため、虚偽の申請により貸与の決定を受けたことが明らかになった者に対する規定を制定する。

#### (2) 現状の課題

- ・貸与者が他の奨学金等を利用しているかの確認は、その有無（有の場合は奨学金の名称を記入）を申請書において確認しているが、具体的にどんな奨学金が併用できないか、貸与者自身が把握していないため、併用できない奨学金等の貸与を受けているかの確認ができない。

#### (3) 改正の効果

- ・申請書様式に併用できない奨学金等を明記することにより申請者が自覚を持って申請することができる。
- ・虚偽の申請により貸与の決定を受けたことが明らかになった者に対する対応が明確になる。

#### (4) 平成 29 年 4 月 1 日以降に貸与の決定を受けた者から適用する。

### 2 様式の改正

#### (1) 貸与申請書 (様式第 1 号、様式第 1 号の 2、様式第 3 号)

- ・規則に定める貸与条件の「保護者等が県内在住であること」を、住民票の提出の代わりに住民基本台帳ネットワークで確認するため、確認の際に必要な保護者生年月日の記載を追加する。
- ・貸与及び返還の事務処理を円滑にするため、郵便番号及び保護者電話番号の記載を追加する。

#### (2) 誓約書 (様式第 6 号)

- ・返還開始後に住所変更したが届出がない者に対し居所調査をする際の事務処理を円滑にするため、戸籍の附票（現住所の記載あり）を公用請求できる本籍地の記載を追加する。

### 3 施行日

平成 29 年 4 月 1 日

静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則（平成17年静岡県規則第1号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
<p>(貸与契約の解除等)</p> <p>第11条 知事は、教育奨学生が次の各号のいずれかに該当する場合には、教育奨学金の貸与契約を解除するものとする。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2)・(3) (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(返還)</p> <p>第13条 (略)</p> <p>2・3 (略)</p>	<p>(貸与契約の解除等)</p> <p>第11条 知事は、教育奨学生が次の各号のいずれかに該当する場合には、教育奨学金の貸与契約を解除するものとする。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>虚偽その他不正な方法により教育奨学金の貸与を受けたことが明らかになったとき。</u></p> <p>(3)・(4) (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(返還)</p> <p>第13条 (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>4 <u>前3項の規定にかかわらず、第11条第1項第2号の規定により教育奨学金の貸与契約が解除されたときは、教育奨学金の貸与を受けた者は、貸与を受けた教育奨学金の全額を、知事が別に定める日までに返還しなければならない。この場合において、次条及び第15条の規定は適用しない。</u></p>

備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。

規則名 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則

改 正 前

様式第1号 (第6条関係) (用紙 日本工業規格A4縦型)

教育奨学金貸与申請書(予約採用希望者用)

年 月 日

静岡県知事 氏名 様

住 所

ふりがな

氏 名

(印)

( 年 月 日生)

電話番号

住 所

保護者 ふりがな

氏 名

(印)

教育奨学金(教育資金・奨学金)の貸与の予約を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

在学している 中学校等	名 称		
	入 学 年 月	年	月
	卒 業 予 定 年 月	年	月
進学を希望する 高等学校等	学 校 種 別	※ 国公立 私立	※ 高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別 支援学校高等部・専修学校高等課程
	通 学 方 法	※ 自宅通学 自宅外通学	
貸与を受けようとする期間		年	月～ 年 月
貸与を受けようとする理由 (家庭事情などを詳細に記入)		1 家庭事情について(詳細に記入) 2 学業への意欲について(目標、進路希望等)	
他の修学資金等借用の有無		※ 有 (名称: )無	

- (注) 1 受けようとする教育奨学金(教育資金か奨学金のどちらか)を○で囲むこと。  
 2 保護者の住所及び氏名は、申請者が未成年の場合に記入すること。  
 3 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。

# 対 照 表

改 正 後

様式第1号 (第6条関係) (用紙 日本工業規格 A 4 縦型)

教育奨学金貸与申請書(予約採用希望者用)

年 月 日

静岡県知事 氏名 様

住 所 〒 \_\_\_\_\_

ふりがな  
氏 名 \_\_\_\_\_ (印)

( 年 月 日生)

電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

保護者 ふりがな  
氏 名 \_\_\_\_\_ (印)

( 年 月 日生)

電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

教育奨学金(教育資金・奨学金)の貸与の予約を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

在学している 中学校等	名 称		
	入 学 年 月	年	月
	卒 業 予 定 年 月	年	月
進学を希望する 高等学校等	学 校 種 別	※ 国公立 私立	※ 高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別 支援学校高等部・専修学校高等課程
	通 学 方 法	※ 自宅通学	自宅外通学
貸与を受けようとする期間		年	月～ 年 月
貸与を受けようとする理由		1 家庭事情について(詳細に記入) 2 学業への意欲について(目標、進路希望等)	
他の修学資金等借用予定の有無		※ 有 (名称: _____) 無	

- (注) 1 受けようとする教育奨学金(教育資金か奨学金のどちらか)を○で囲むこと。  
 2 保護者の住所、氏名、生年月日及び電話番号は、申請者が未成年の場合に記入すること。  
 3 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。

規則名 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則

改 正 前

様式第1号の2 (第6条関係) (用紙 日本工業規格A4縦型)

教育奨学金貸与申請書(在学採用希望者用)

年 月 日

静岡県知事 氏名 様

住 所  
 ふりがな  
 氏 名 (印)  
 ( 年 月 日生)

電話番号  
 住 所  
 保護者 ふりがな  
 氏 名 (印)

教育奨学金(教育資金・奨学金)の貸与を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

在学している高等学校等	名 称			
	課 程	※ 全日制・定時制・通信制・単位制	学年 (年次)	
	入 学 年 月	年 月		
	卒 業 予 定 年 月	年 月		
通 学 方 法	※ 自宅通学 自宅外通学			
貸与を受けようとする金額	月額	円		
貸与を受けようとする期間	年 月～ 年 月			
貸与を受けようとする理由 (家庭事情などを詳細に記入)	1 家庭事情について(詳細に記入) 2 学業への意欲について(目標、進路希望等)			
他の修学資金等借用の有無	※ 有 (名称: ) 無			

- (注) 1 受けようとする教育奨学金(教育資金か奨学金のどちらか)を○で囲むこと。  
 2 保護者の住所及び氏名は、申請者が未成年の場合に記入すること。  
 3 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。

# 対 照 表

改 正 後

様式第1号の2 (第6条関係) (用紙 日本工業規格A 4縦型)

教育奨学金貸与申請書(在学採用希望者用)

年 月 日

静岡県知事 氏名 様

住 所 〒 \_\_\_\_\_  
 ふりがな \_\_\_\_\_  
 氏 名 \_\_\_\_\_ (印)  
 ( 年 月 日生)  
 電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_  
 保護者 ふりがな \_\_\_\_\_  
 氏 名 \_\_\_\_\_ (印)  
 ( 年 月 日生)  
 電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

教育奨学金(教育資金・奨学金)の貸与を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

在学している高等学校等	名 称			
	課 程	※ 全日制・定時制・通信制・単位制	学年 (年次)	
	入 学 年 月	年 月		
	卒 業 予 定 年 月	年 月		
通 学 方 法	※ 自宅通学 自宅外通学			
貸与を受けようとする金額	月額	円		
貸与を受けようとする期間	年 月 ~ 年 月			
貸与を受けようとする理由	1 家庭事情について(詳細に記入) 2 学業への意欲について(目標、進路希望等)			
下記の事項に間違いなければ、□にレ点を記入してください。 <input type="checkbox"/> 私(申請者)は、母子及び父子並びに寡婦福祉法の規定による修学資金、静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則の規定による修学資金若しくは他の都道府県が行うこれらに準ずる資金又は奨学金若しくは他の都道府県が行う教育奨学金に準ずる資金の貸与を受けていません。 <input type="checkbox"/> この申請書に記載の内容は、事実と相違ありません。 虚偽の記載があった場合は、静岡県の求めに従いその全額を返還します。				

- (注) 1 受けようとする教育奨学金(教育資金か奨学金のどちらか)を○で囲むこと。  
 2 保護者の住所、氏名、生年月日及び電話番号は、申請者が未成年の場合に記入すること。  
 3 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。

規則名 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則

改 正 前

様式第3号 (第7条関係) (用紙 日本工業規格A4縦型)

教育資金貸与継続申請書

年 月 日

静岡県知事 氏名 様

決定番号  
住 所  
ふりがな  
氏 名 (印)  
( 年 月 日生)

電話番号  
住 所  
保護者 ふりがな  
氏 名 (印)

教育資金の貸与を継続して受けたいので、関係書類を添えて申請します。

在学している高等学校等	名 称			
	課 程	※ 全日制・定時制・通信制・単位制	学年 (年次)	
	入 学 年 月	年 月		
	卒 業 予 定 年 月	年 月		
通 学 方 法	※ 自宅通学	自宅外通学		
貸与を受けようとする金額	月額 円			
貸与を受けようとする期間	年 月～ 年 月			
貸与を受けようとする理由 (家庭事情などを詳細に記入)	1 家庭事情について (詳細に記入) 2 学業への意欲について (目標、進路希望等)			
他の修学資金等借用の有無	※ 有 (名称: )	無		

- (注) 1 保護者の住所及び氏名は、申請者が未成年の場合に記入すること。  
2 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。



# 対 照 表

改 正 後

様式第3号 (第7条関係) (用紙 日本工業規格A4縦型)

## 教育資金貸与継続申請書

年 月 日

静岡県知事 氏名 様

決定番号

住 所 〒 \_\_\_\_\_

ふりがな

氏 名 \_\_\_\_\_ (印)

( 年 月 日生)

電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

保護者 ふりがな

氏 名 \_\_\_\_\_ (印)

( 年 月 日生)

電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

教育資金の貸与を継続して受けたいので、関係書類を添えて申請します。

在学している高等学校等	名 称			
	課 程	※ 全日制・定時制・通信制・単位制	学年 (年次)	
	入 学 年 月	年 月		
	卒 業 予 定 年 月	年 月		
通 学 方 法	※ 自宅通学	自宅外通学		
貸与を受けようとする金額	月額		円	
貸与を受けようとする期間	年 月～ 年 月			
貸与を受けようとする理由	1 家庭事情について (詳細に記入) 2 学業への意欲について (目標、進路希望等)			
下記の事項に間違いなければ、□にレ点を記入してください。 <input type="checkbox"/> 私 (申請者) は、母子及び父子並びに寡婦福祉法の規定による修学資金、静岡県高等学校校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則の規定による修学資金若しくは他の都道府県が行うこれらに準ずる資金又は奨学金若しくは他の都道府県が行う教育奨学金に準ずる資金の貸与を受けていません。 <input type="checkbox"/> この申請書に記載の内容は、事実と相違ありません。 虚偽の記載があった場合は、静岡県の求めに従いその全額を返還します。				

- (注) 1 保護者の住所、氏名、生年月日及び電話番号は、申請者が未成年の場合に記入すること。  
 2 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。

規則名 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則

改 正 前

様式第5号 (第8条関係) (用紙 日本工業規格A4縦型)

高等学校等入学届

静岡県知事 氏名 様

年 月 日

住 所  
ふりがな  
氏 名

( 年 月 日)  (印)

電話番号  
住 所  
保護者 氏名

(印)

高等学校等に入学したので、関係書類を添えて届け出ます。

入学した高等学校等	名 称	
	課 程	※ 全日制・定時制・通信制・単位制
	入 学 年 月	年 月
	卒 業 予 定 年 月	年 月
通 学 方 法	※ 自宅通学 自宅外通学	
貸与を受けようとする金額	月額 円	
貸与を受けようとする期間	年 月～ 年 月	
他の修学資金等借用の有無	※ 有 (名称: ) 無	

- (注) 1 保護者の住所及び氏名は、届出者が未成年の場合に記入すること。  
2 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。

# 対 照 表

改 正 後

様式第5号 (第8条関係) (用紙 日本工業規格A4縦型)

高等学校等入学届

静岡県知事 氏名 様

年 月 日

住 所  
ふりがな  
氏 名

( 年 月 日生) (印)

電話番号

住 所  
保護者 ふりがな  
氏 名

(印)

高等学校等に入学したので、関係書類を添えて届け出ます。

入学した高等学校等	名 称	
	課 程	※ 全日制・定時制・通信制・単位制
	入 学 年 月	年 月
	卒 業 予 定 年 月	年 月
通 学 方 法	※	自宅通学 自宅外通学
貸与を受けようとする金額	月額	円
貸与を受けようとする期間	年 月～	年 月
<p>下記の事項に間違いなければ、□にレ点を記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 私(申請者)は、母子及び父子並びに寡婦福祉法の規定による修学資金、静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則の規定による修学資金若しくは他の都道府県が行うこれらに準ずる資金又は奨学金若しくは他の都道府県が行う教育奨学金に準ずる資金の貸与を受けていません。</p> <p><input type="checkbox"/> 教育奨学金貸与申請書及びこの届出書に記載の内容は、事実と相違ありません。</p> <p>虚偽の記載があった場合は、静岡県の求めに従いその全額を返還します。</p>		

- (注) 1 保護者の住所及び氏名は、届出者が未成年の場合に記入すること。  
 2 ※印欄は、該当のものを○で囲むこと。

規則名 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則

改 正 前

様式第6号(第10条関係)(用紙 日本工業規格A 4縦型)

誓 約 書

年 月 日

静岡県知事 氏 名 様

私は、静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則を遵守することを誓います。  
なお、貸与を受けた教育奨学金(教育資金・奨学金)の返還債務が生じたときは、返還期限までに確実に返還します。

決定番号  
住 所  
氏 名  
電話番号

(印)

私どもは、教育奨学金(教育資金・奨学金)については、返還債務を本人と連帯して負担します。

住 所  
ふりがな  
氏 名  
本人との続柄(関係)  
電話番号

連帯保証人

(印)

住 所  
ふりがな  
氏 名  
本人との続柄(関係)  
電話番号

連帯保証人

(印)

(注) 連帯保証人の印鑑証明書を添付すること。

対 照 表

改 正 後

様式第6号(第10条関係)(用紙 日本工業規格A4縦型)

誓 約 書

年 月 日

静岡県知事 氏 名 様

私は、静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則を遵守することを誓います。  
なお、貸与を受けた教育奨学金(教育資金・奨学金)の返還債務が生じたときは、返還期限までに確実に返還します。

決定番号  
住 所  
本籍地  
氏 名  
電話番号

印

私どもは、教育奨学金(教育資金・奨学金)については、返還債務を本人と連帯して負担します。

住 所  
本籍地  
ふりがな  
氏 名  
本人との続柄(関係)  
電話番号

連帯保証人

印

住 所  
本籍地  
ふりがな  
氏 名  
本人との続柄(関係)  
電話番号

連帯保証人

印

(注) 連帯保証人の印鑑証明書を添付すること。

知事褒賞授与対象者の決定

(高校教育課)

1 要旨

職業教育関係学校の生徒・学生等に対する知事表彰制度において、知事褒賞授与対象者となる高校生を選考した(平成28年度第2期)。

2 授与対象者及び選考経緯等

(1) 知事褒賞授与対象者

	学校名(学科等)	学年	氏名	性別	学業に関連した顕著な業績
1	県立静岡農業高等学校 (農業・食品科学科)	3年	ますだ 増田 あやか 彩香	女	「日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表 文部科学大臣賞」「全国ユース環境活動発表大会 環境大臣賞」等
2	県立田方農業高等学校 (農業・ライフデザイン科)	3年	わたなべ 渡辺 おりえ 織恵	女	「日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技会 生活科学部門 最優秀賞」「全国農業高等学校長協会アグリマイスター顕彰制度 プラチナ認定」等
3	県立浜松商業高等学校 (商業・商業科)	3年	やまもと 山本 あき 亜紀	女	「全国高等学校簿記コンクール 個人優勝 団体準優勝」「東海地区高等学校商業実務総合競技大会 個人準優勝 団体優勝」「全国商業高等学校協会主催検定試験 1級6種目合格」等

※対象者には、各学校の卒業式等において、校長から褒状を授与する。

(2) 選考経緯

ア 対象者募集 平成28年9月27日から12月16日まで

対象校			第2期		第1期	
			推薦数	授与対象者数	推薦数	授与対象者数
県内公・私立 高等学校 58校	専門学科 設置校	農業科 6校	4	2	0	0
		水産科 1校	0	0	0	0
		工業科 12校	0	0	5	1
		商業科 21校	1	1	5	2
		家庭科 4校	0	0	1	0
		福祉科 6校	0	0	0	0
		芸術科 6校	0	0	0	0
		体育科 1校	0	0	0	0
		総合学科設置校 10校	1 (農業系)	0	0	0
合 計			6	3	11	3

※ 複数の学科を併置する学校があるため、各学科の設置校数の計は県内公・私立高等学校の数(58校)に一致しない。

イ 選考

文化・観光部私学振興課及び教育委員会高校教育課において、学校から推薦された者のうちから、提出された書類により対象者を選考した。